北信建設事務所 河川事業による整備効果

(一) 千曲川•(一)樽川 飯山管内一円(県単河川環境改善事業)

- 〇北信建設事務所では、昭和57、58年の大水害以降、千曲川、樽川の築堤整備が進み、現在では、主な管理堤防として、千曲川桑名川地籍L=2.7km、樽川L=4.5kmを管理している。
- ○大水害の経験から、地域住民の築堤整備、管理の関心は非常に高く、適切な堤防管理が強く求められている。
- ○今までは、人力での除草であったため、予算の制約もあり除草範囲が限られていたが、大型除草機械の 導入により、除草面積を大幅にアップすることができた。







H26年度の 草刈りの状況



H25年度末 大型除草機械購入 C=480万円



人力施工33,000㎡/100万円



同じ予算で 6倍の効果

機械施工200,000㎡/100万円

経費の節減、適正な堤防の維持管理、住民サービスの向上に寄与。



作業条件によるが、人力では2人で3日かかるところ、機械では1日で完了

北信建設事務所 河川事業による波及効果

(一) 千曲川 • (一) 樽川 飯山管内一円(県単河川環境改善事業)

【生活環境の向上】

① 経費の削減による堤防草刈り面積の増 <周辺環境の向上> [草刈り経費1/6に削減] 人力施工 33,000㎡/100万円

機械施工 200,000㎡/100万円

②河川とともに生きる地域の創生
〈適正な堤防管理による景観保全〉





【災害防除】

- ③周辺河川での愛護活動 <適正な河川管理>
- ④堤防除草による「憩いの場」の創出
- ⑤ 堤防の適正な維持管理 〈漏水箇所等、異常箇所の早期発見〉 [H26河川パトロール 異常なし]



